

東嶺山だより

令和4年10月号 通刊177号

355-0044 東松山市正代778-3 電話 0493-34-3706(6555) FAX 0493-34-6555
email: semyojuji@yahoo.co.jp HP: tosaki.web.fc2.com/index.htm 携帯 090-2446-5209

10月5日は「達磨忌(だるまき)」

中国の禅宗の始祖。菩提達磨。諡号は円覚大師。南インド香至国の王子で、6世紀のはじめ中国に渡り、嵩山の少林寺で面壁坐禅して悟りを得たといわれます。



＜達磨大師の出家のきっかけとインドでの修行＞

達磨大師(378-528)は、南インドの香至国(こうしこく)の国王の三男として生まれました。名前を菩提多羅(ぼだいたら)といいます。菩提多羅が7歳のある日、行脚の旅をしていた般若多羅(はんによたら)という僧侶が香至国を訪れました。国王が宮中に招いて教えを受けると、尊い仏教の教えを説いたので、お礼に宝珠を贈りました。そして、3人の王子たちにも挨拶させると、般若多羅はこう言いました。

「国王から頂いたこの宝珠は、まことにすばらしいものです。王子様がた、この世には、この宝珠以上の宝は、果たしてあるものでしょうか？」第一の王子はこう答えました。「この宝珠は、この国最高の宝物です。この世にこれ以上の宝物はありませんまい」第二の王子もこう答えます。「兄の言う通り、尊者のような高德の方のみに許される最高の宝です」。上の2人はこの世にこれ以上の宝はない、という答えだったのですが、第三王子の菩提多羅は違いました。「確かにこの宝珠はすばらしい宝です。しかし、何が最高の宝かといえば、正しい教えこそが、最高の宝でありましょう。この宝珠もすばらしい輝きを放ちますが、智慧の光こそが最もすばらしい輝きを放つものと思います」

この立派な答に感心した般若多羅は、出家を勧め、国王も承諾しました。やがて国王が病気になり、苦しんで亡くなりました。その姿を見た菩提多羅は、「死んだらどうなるのだろう」と思いました。7日間瞑想して考えましたが、わかりません。菩提多羅はこれをきっかけに出家し、般若多羅に弟子入りしたのでした。このとき菩提多羅は「菩提達磨」という名前をもらい、般若多羅の弟子として、厳しい修行に打ち込みました。40年以上の厳しい修行の末、ついに一人前と認められたのです。

お師匠さまに、「どこへ仏教を伝えに行ったらよろしいでしょうか」とお尋ねすると、驚くべき答えが待っていました。「お前は一人前になったといっても、有頂天になって自惚れるでない。私の元でこの後も修行を続けるのじゃ。ただし、私が死んだら67年間、インド中をくまなく歩いて仏教を伝えるがよい。その後は中国へ渡って、仏教を伝えるのだ」。こうしてしばらくの間師匠のもとで修行を続け、般若多羅が亡くなってから、旅に出たのです。

当時のインドで、般若多羅の同門の6人が、6つの宗派に分かれて、互いに争っていました。ところがどれも真実を教えるてはしませんでした。達磨大師は、「このままでは人々は本当の幸せになることはできない」と考えて、敢然と立ち上がったのです。それぞれ大きな僧侶の集団になっていましたが、達磨大師は、一宗一宗赴いて、大論争を行い、すべてを破ったのです。こうして達磨大師の名は、インド中に轟き渡りました。

達磨大師は、528年10月5日、150歳で亡くなりました。死を惜しんだ時の皇帝から大師号が贈られ、「達磨大師」となりました。達磨大師がなくなった10月5日を、日本の禅宗では、「達磨忌(だるまき)」といて、達磨大師の命日の法要を行います。

お知らせ

■ 受戒（在家得度式）のすすめ

～在家信心形成の儀式「受戒会（じゅかいえ）」～

「受戒」とは、檀家・信徒が戒師について仏弟子になるための儀式です。別名「在家得度式（ざいけとくどしき）」といいます。世明寿寺でも今年3人の方が受戒されています。

本山では毎年定期的に行っていますが、世明寿寺では、皆さんからご希望に応じて随時行っています。原則世明寿寺本堂で行いますが、ご事情によりご自宅で行うことも可能です。

内容的には、自己の愚かさを懺悔し煩惱を振り所とすることを止めて、仏・法・僧の三宝に帰依してその教えを振り所にする帰依の誓い、間違った行いをしないと誓う併せて16の戒律を宣誓する儀式を行います。つまり、懺悔・礼拝・読経・聞法を通して仏教徒としての生き方を学びます。

これによってさとりの世界に仲間入りをした証拠として戒名と「血脈（けちみやく）」という教えの系譜を授けます。

また、受戒記念に「半袈裟」と「念珠」をお授けいたします。

■ YouTube 「禅のこころー曹洞宗ー」

YouTube にて曹洞宗関東管区教化センターの公式チャンネルが開設されています。

- ・曹洞宗の様々な儀礼作法
- ・文化放送で流した法話
- ・寺院取材など

検索ワード：**禅のこころ 曹洞宗**

幅広く曹洞宗の紹介をしています。是非ご覧下さい。

■ 禅をきく会（第一次案内）

●日時 令和5年3月2日（木） ●会場 大宮ソニックシティ

■ 今月のことば

「真観清浄観（しんかんしょうじょうかん）」

禅の考え方の基本は「引き算」です。物であれば、できる限り手放し、そぎ落とし、捨てていく。それでも残る物を、必要だとするのは。思いも同じです。心に入ってくる思いを、とどめることなく、消えるに任せる。そうすることで、周囲の環境も、心のありようも、シンプルで、清々しいものになるでしょう。

■ お願い 護持会費やお盆志納金が未納の方は、納入願います

■ 10月の予定

- 寺子屋 1, 15日 **再開します**
- 坐禅会・写経会・ヨガ 9, 23日 坐禅：7時 写経：8時 ヨガ：9時30分頃 **ヨガ再開します**